

食 農 ぴっくあっふ

2026年7月号
No. 208
東海農政局



ウェブサイト

「消費者の部屋」体験イベント、夏まふりを開催します

東海農政局は、7月23・24・27・30日に「消費者の部屋」体験イベント、8月5日に夏まふりを開催します。どちらも、楽しみながら学べる体験型のこども向けイベントですので、東海地域のこどもたちが、食や農について考えるきっかけに思ってもらえればと思います。参加費は無料です。夏休みの思い出づくりや自由研究にいかがでしょうか。

なお、このイベントは、中部経済産業局と連携し「名古屋第4地方合同庁舎 キッズフェスタ2026」として開催します。新庁舎移転後初めての開催となります。

名古屋第4地方合同庁舎 キッズフェスタ2026 第2弾「消費者の部屋」体験イベント


事前申込制（各回定員12名） 参加費無料 対象：小学生 保護者又は引率者同伴

おいしく食べて、地球も守る！
魔法のあぶら大変身
～手作りアロマせっけんと食のエコ体験～

7/23 (木)

出展：東海学院大学

① 10:00～② 13:00～
③ 15:00～
各回1時間30分程度




梨のひみつを知ろう！
つまみ細工でつくる梨のキーホルダー

7/24 (金)

出展：こびとの農園

① 10:00～② 13:00～
③ 15:00～
各回1時間30分程度




VR体験
「ヤクルトおなか探検ツアー」

7/27 (月)

出展：(株)ヤクルトマーケティング東海

① 10:00～② 11:00～
③ 13:00～④ 14:00～
⑤ 15:00～
各回1時間程度




調査せよ！食べるヒミツと生命のつながり
～キラキラDNAストラップで
「からだのひみつ」を発見～

7/30 (木)

出展：東海学院大学

① 10:00～② 13:00～
③ 15:00～
各回1時間30分程度



消費者の部屋
体験イベントの
詳細はこちら

名古屋第4地方合同庁舎 キッズフェスタ2026 第3弾 夏まふり

8月5日 (水曜日) 10:00から15:00
(入場受付は14:30まで)

申込不要 (入退場自由) 参加費無料
対象：幼児・小学生 保護者又は引率者同伴
※本イベントの推奨年齢は4歳以上です (一部ブースは小学生のみ参加可能)

<p>メダカすくい</p> 	<p>スマート農業技術を体験しよう！ (MRを使用したドローンの操縦体験)</p>  <p>※小学生のみ</p>	<p>学んで、作って、貢献しよう！ 『ジビエの世界』 (小物づくり体験)</p>  <p>※小学生のみ・先着順 (数に限りがあります)</p>	<p>あんしんごはん だいさくせん！ (食料安全保障についての学習ゲーム)</p> 	<p>食べ残しゼロ きみは今日のヒーロー！ (るすのん 押し花しおりづくり体験)</p> 
<p>和食って何だろう？ (クイズ、豆つかみゲーム)</p> 	<p>お米について学ぼう！ (もみすり体験、玄米びったり100粒に挑戦)</p> 	<p>“あつめて！さがして！” めざせ!! 食品表示マスター (食材釣り→ビンゴ→食品表示クイズ)</p> 	<p>フォトブースに モリゾー・キッコロが やってくる！</p> 	

※掲載の写真・画像は全てイメージです



夏まふりの
詳細はこちら

名古屋第4地方合同庁舎 キッズフェスタ2026 第1弾は中部経済産業局が7月29日(水曜日)にこどもデー2026を開催します。



昨年と場所が変わりました
会場アクセスはこちら



お問合せ先 消費・安全部 消費生活課 TEL 052-223-4651

丸山千枚田での「田植えの集い」に参加しました

5月16日、三重県熊野市にある丸山千枚田に、三重県内外から棚田のオーナーら約700人が集まり、熊野市及び（一財）熊野市ふるさと振興公社主催による「田植えの集い」が開催されました。

当日は快晴に恵まれ、初夏のような汗ばむ陽気の中、東海農政局からも職員が参加し、昔ながらの手作業で三重県の育成水稲品種「なついろ」の田植えを行いました。



当日の丸山千枚田

～なついろ～

夏の高温に強い、稲が倒れにくい、食味が良い、いもち病に強いという特性を持つ三重県農業研究所で開発された品種。



田植えをする東海農政局職員

丸山千枚田は、1,340枚という国内最大規模の枚数を誇る棚田で、日本の棚田百選に選ばれ、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」にも認定されています。

平成8年度より「都市住民との交流を深めることにより、一緒に千枚田を守っていこう」という趣旨のもと、（一財）熊野市ふるさと振興公社が千枚田オーナー制度を始めました。この制度には、全国各地から毎年100組を超える申込みがあり、田植えや稲刈りなどの農作業を通して、交流が図られています。

お問合せ先 三重県拠点 TEL 059-228-3151

地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の取組事例を表彰します！ ～令和8年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」募集中～

農林水産省では「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、令和8年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を8月31日（月）まで募集しています。

応募方法

- ①右の二次元コードから特設ウェブサイトの応募ページにアクセスします。
- ②掲載している応募用紙をダウンロードして必要事項を記入します。
- ③応募ページの応募フォームから応募者情報を入力し、応募用紙を添付して送信してください。



ディスカバー
農山漁村の宝
ロゴマーク



応募の詳細は
こちら

選定方法等

応募事例を有識者懇談会で審査し、30地区程度を優良事例として選定します。

さらに、その中から以下の部門ごとに優秀賞を選定し、表彰します。

- ①生産性向上部門：植物工場、陸上養殖、衛星情報やAI解析などの先端技術の活用や田畑のフル活用等の取組
- ②需要拡大・付加価値向上部門：農林水産物や食品の需要拡大・輸出拡大、ブランド化など高付加価値化等の取組

また、部門を問わず、選定された優良事例の中から最も優れた取組を「グランプリ」、分野ごとに先鋭的な取組を「特別賞」として選定し、表彰します。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の詳細については、東海農政局ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/discover/index.html>



令和7年度 優秀賞
海女振興協議会
(三重県鳥羽市・志摩市)

お問合せ先 農村振興部 農村計画課 TEL 052-223-4629

食育を推進する優れた取組を表彰します！ ～「第11回食育活動表彰」募集中～

農林水産省は食育に取り組む個人・団体を対象に、その功績をたたえるとともに、取組の内容を広く国民に周知し、優れた取組が全国に展開していくことを目的に表彰を行っています。
食育活動の取組をしている皆様、自薦・他薦は問いませんので、奮って御応募ください。



▲第11回食育活動表彰ポスター



▲第10回表彰式の様子

第11回食育活動表彰

●部門

【ボランティア部門】

- ①食生活改善推進員の部 <都道府県及び政令指定都市の長による推薦>
- ②食育推進ボランティアの部 <自薦又は他薦（都道府県、政令指定都市及び大学等の長）>

【教育関係者・事業者部門】 <自薦又は他薦>

- ①教育等関係者の部 ②農林漁業者等の部 ③企業の部

●表彰内容

- 農林水産大臣賞：5点以内
- 消費・安全局長賞：10点程度
- 審査委員特別賞：5点以内

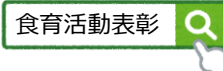
令和9年6月26日（土曜日）に2027年国際園芸博覧会（神奈川県）で開催される第22回食育推進全国大会において、受賞者を表彰します。

●応募方法

農林水産省ウェブサイトから、推薦調書をダウンロードして記入後、Eメール送付又はCD-R等の郵送にて応募。

●応募締切

令和8年8月31日（月曜日）（必着）



お問合せ先 消費・安全部 消費生活課 TEL 052-223-4651

夏の熱中症等対策に関する声かけ期間

7月1日から9月30日までは「夏の熱中症等対策声かけ期間」です。キャッチフレーズは「いのちをうばう、夏のひとり作業」。農林水産省では、各種会合や資材販売等の機会を捉えた声かけに加え、SNS、防災無線、広報誌など様々な媒体を活用した注意喚起を推進しています。

7月から9月は
夏の熱中症等 声かけ期間です！

声かけ活動のポイント

- 家族で**
 - 作業前だけでなく、作業中もこまめにコミュニケーションを
 - 「水分、持った？」
 - 「体調が悪くなったら、すぐに連絡して」
- 職場で**
 - その日の体調や暑さに応じて適切な声かけを
 - 「顔色わるいよ、休憩しよう」
 - 「WBGT値が高いから、作業を中止しよう」
- 地域全体で**
 - 声を合わせたら、まず一声声かけを
 - 「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
 - 「家は暑くないから、高い所に瓦を付けて」

キャッチフレーズは「いのちをうばう、夏のひとり作業」

熱中症対策の3つのポイント

- 温度やWBGT値を見て作業を考えよう**
 - 暑さに応じて、作業内容を調整
 - 暑い作業は、朝夕の涼しい時間帯にする。または休憩や給水の回数を増やす
- こまめに休憩を取ろう**
 - 20分おきを目安に休憩
 - 休憩時には水分・暑分補給を（ローソク・経路はなげ、水・スポーツ飲料を）
 - 日陰や涼房のある場所で体を冷やす
- もしもの時の応急処置**
 - 異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所へ移動して身体を冷やす
 - 意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は、直ちに119（または#119）を

農業は1人作業が多く、熱中症になった際には自分では症状を自覚しにくいことから、熱中症が重篤化しやすい傾向にあります。また、高温の日は疲れ等により、高所から転落する等の事故が起きやすいため注意が必要です。

どうしても、一人作業を避けられない場合は…

- 携帯電話で家族等と30分おきに連絡を取り合う
- 危険な状態をアラートで伝えるウェアラブル端末を装着する
- 暑さ対策にはスマート農業技術や農業支援サービス事業者の活用も有効です！

一人ひとりの「大丈夫？」が、命を守ります。この夏は熱中症による死亡者0を目指しましょう！

農林水産省補助事業（農作業安全総合対策推進）にて作成
制作費の一部は個人収入課税対象外です

熱中症対策のポイント

単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍

ウェアラブル端末、応急セット

ポスターのダウンロードはこちら

農作業安全対策はこちら

ポスター：https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/siryoy-180.pdf

お問合せ先 生産部 環境・技術課 TEL 052-746-1313

スマート農業技術活用促進法に基づく 生産方式革新実施計画を認定しています

農林水産省では、より生産性の高い農業の実現を目指し、スマート農業技術とその効果を高める栽培方法を一体的に導入する取組を「生産方式革新実施計画」として認定することにより、スマート農業の推進を図っています。

東海農政局においては、これまでに47件の取組を認定しています（令和8年6月11日時点）。

東海3県における取組事例

株式会社トクイテン（愛知県名古屋市）



自動収穫ロボット

ミニトマトの自動収穫ロボットの導入と、ロボット収穫に適した品種の導入及びロボット走行用レール・通路の整備により、収穫作業を省力化します。



走行用レール・通路



ロボット収穫に適した品種

お問合せ先 生産部 環境・技術課 TEL 052-746-1313

株式会社小島ファーム（三重県松阪市）



自動操舵トラクター



栽培管理システム

水稻の栽培において、ほ場の大区画化・均平化と直播栽培の導入により、スマート農業機械による作業の効率化と稼働面積の拡大を図ります。さらに、栽培管理システム（データに基づき農業者の営農判断を支援するシステム）等のデータを他の生産者と共有することで、よりよい栽培につなげます。

生産方式革新実施計画の認定を受けた事業者は、補助事業の優先採択や、金融・税制等の支援措置を受けることができます。

東海3県の認定状況はこちら

制度の詳細はこちら



燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置しています

政府においては、燃料油や石油製品等の供給について、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

東海農政局の相談窓口 連絡先一覧

業種	担当部署名	メールアドレス（★を@に変更してください）
農業	生産部 環境・技術課	seisannenyu_tokai★maff.go.jp
畜産業	生産部 畜産課	tokai_chikusan_info★maff.go.jp
食品産業	経営・事業支援部 食品企業課	shokuhinnenyu_tokai★maff.go.jp
その他	企画調整室	nenyu_tokai★maff.go.jp



詳細はこちら

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610



GREEN x EXPO 2027

開催まであと9か月！

開催期間：令和9年3月19日（金）から9月26日（日）

開催場所：横浜市

【編集後記】

農業は、私たちの食を支えるだけでなく、豊かな自然環境や美しい景観を守る役割も担っています。身近な農業について改めて考え、東海地域の魅力を再発見するきっかけとなれば嬉しく思います。また、夏休みを迎えるこれからの時期に、子どもたちが農業や食に関心を持つきっかけになれば——そんな思いも込めてお届けしました。

<編集> 東海農政局 企画調整室 TEL 052-223-4628

<ウェブサイト> <https://www.maff.go.jp/tokai/>

東海農政局



「食・農びっくあっぷ」
ウェブサイト



メールマガジンの
登録はこちら



東海農政局
公式 X